

風を感じて No.304

RI.10月

きんもくせいの薫る季節となりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

(稻)... 9月の台風17号は九州から離れたところを北上して大丈夫と思っていましたが、夜になってしばらく暴風圏内に入ってしまいました。赤米がベッタリと倒れてしましました。倒れると、雨が降って後は乾きにくく、質が悪くなり手でし、収穫の時も、サッと刈り取ることはできませんでした。又、ウンカによる被害を受けやすくなります。仕方がない、と思いつつも、残食になります。

続けて台風18号が発生しており、17号と同じようなコースを進むと予想されていました。今度は暴風圏内に入らなければいいことを心から願っているところです(10月現在)。

稻に被害を及ぼす「トビイロウンカ」が、今年は多発しています。ヶ月に注意報が出ていましたが、9月も気温の高い日が多くありますため、トビイロウンカが増殖しやすくなり、注意報から警報に切り替わりました。このトビイロウンカは、中国大陸から、梅雨前線に乗って、はるばる日本まで飛んできます。稻の茎から水分や養分を吸って稻を弱らせ、数が増えると、稻がまとめて枯れていきます。このような被害に遭うことなく、お米の収穫ができるよう心から願っています。



9月20日ごろの、我が家のある田んぼ。その後、日に日に色づいてきて、刈り取りも間近となってきました。又、田んぼの周りには彼岸花が咲きとても美しい光景が広がっています。

10月上旬から、稻刈りが始まる予定です。新米を待ちに企ておられると思いますが、もうしばらくお待ち下さい。

(大豆)も、元気に育っています。今、枝豆として食べられる位になっています。お陰様で台風17号によって倒れるることはありませんでした。台風18号による被害もありませんように。

編集 原誠一、文代

TEL FAX
0968-26-4339

食用菊

...観賞用の菊の苦みや強い香りを抑えるなど、改良を重ねてつくったのが食用菊です。観賞用は苦み・香り、臭い強く、食用には向きません。品種は同じでも、呼び名はいろいろあります。「もつのはほか」「かきのもと」「阿房宮」など様々です。

「もつのはほか」...天皇家の紋章である菊の御紋を食べるのもつのはほか。とあります説やこんなにおいしいものを嫁に食べさせるのはもつのはほか...もつのはほかおいしいなど、諸説あるようです。

「阿房宮」...1万人を収容でき、という秦の始皇帝の宮殿のこと。始皇帝が不老長寿の薬を求めて故事にちなんで名付けられ、とも言われています。

食用菊には、高い抗酸化作用と、発生したガンの進行を抑える働きがあることがわかつきました。食用菊の品種によって差はあるものの、どれも高い抗酸化性があり、その値は、同じキク科のシエンギクよりも高いといわれています。

強い抗酸化性を支えるかぎりには、フラボノイドやポリフェノールの働きです。体内の活性酸素を消し、悪玉コレステロールを抑えなど、生活習慣病を防いでくれます。又、水溶性のポリフェノールは長時間調理すると溶け出しますが、食用菊はサッとゆでただけで火が通るので、溶け出さず配がよいのも魅力です。

① 調理の仕方...食用菊は花びらだけを摘んでボウルに入れ、1㍑分の水を張って洗います。花びらを摘んでからの方が洗いやすいです。②一度、ザルにあけたら酢少々を入れて、お湯でサッとゆめます。③水にとってからザルにあけ、水気をしぼります。酢のもの、みえもの、てんぷら、炊き込みごはんなどいろいろ楽しめます。④菊がたくさんある時は、ゆでて水気をしぼってから冷凍保存用の袋に平たく広げるようにして冷凍しておくと、必要な分だけポキポキ切って使えるので便利です。自然解凍してから少し水気を拭いて、おひたしに少量混ぜたりするだけで、彩り豊かな華やかになります。

食用菊の主産地は東北で、野菜が不足する冬場に重宝

されていよいよあります。西日本では、それが浸透していませんが、秋にふさわしい見た目の美しさで、食卓に「花」を添えてくれる食用菊、試してみたいものです。

